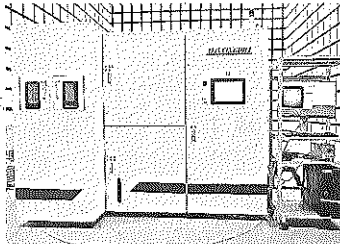


## 面発光レーザー 量産化へ新製品

エピクエスト

半導体製造装置メーカーのエピクエスト(京都市南区)は、主力の面発光レーザー製作用酸化装置に全自動ロボット搬送システムを取り付けた新製品を開発した。スマートフ

ロボット搬送システム(左側)を取り付けた面発光レーザー製作用酸化装置



オン部品メーカーなど向けに8月から出荷を始める。

面発光レーザーは、スマホの顔認証システム

ムなどに使われ、近年は情報セキュリティ向けに需要が拡大している。量産に対応するため、省力化と生産性向上を図る新システムを開発した。

従来は人が装置の扉を開けて基板となるウエハーの入った容器を設置する必要があったが、ウエハー容器をロボットが自動搬送し、一度に5枚を連続処理できるようにした。販売価格は1台6千万円から。(柿木拓洋)